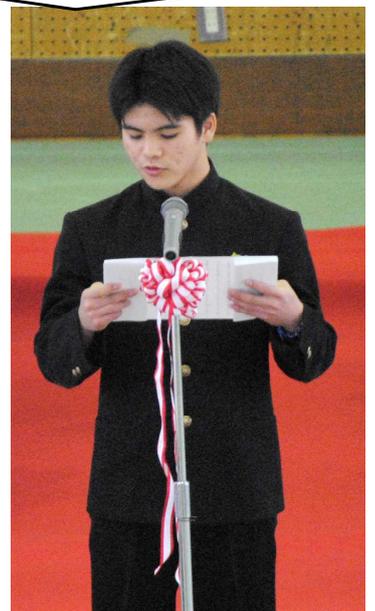


不転

第147号
東江中学校
校長 神元 勉

熱い思いが込められた最高の卒業式



■答辞：東 憲太郎（第40代生徒会長）

会場を彩る花々と温かい拍手に迎えられ、40期生109名の巣立ちの日がやってきました。私達のためにこのような盛大な卒業式を挙行していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

少し大きめの制服に身を包んで、希望と不安を胸に東江中学校に入学した日から早3年。時の流れが本当に速く感じられます。

瀬喜田小学校や他の小学校からの新しい仲間も加わり、私達の中学校生活はスタートしました。初めのうちは緊張や戸惑いもあったのですが、日が経つにつれて東江中にもなじみ、持ち前の元気の良さを発揮するようになってきました。私達の1年生時代は、見るものが新鮮で、やることなすことが愉快で「中学生」と呼ばれることに誇らしさは感じながらも、まだまだ小学生気分が抜けず、学校中を駆け回り、先生方や先輩達に注意を受けることも度々ありました。

中学校生活にすっかり慣れ2年生に進級。2年生の思い出は何と言っても修学旅行です。仲間と寝食を共にした3泊4日の旅。大雪で太宰府天満宮には行けず残念でしたが、長崎での自主学習やスキーをしたり、グリーンランドで遊んだり、初めて体験することがたくさんありました。し

ク大会も、これまで知らなかった友達の意外な一面や特技に大いに盛り上がりました。この4日間で絆がより強くなったのを実感しました。そして、最上級生となった今年。いよいよ私達が東江中学校を引っ張っていく番になりました。これまで見事なリーダーシップでどの行事も成功させ、また立腰・黙想の取組など、頼もしい先輩方の後ろ姿を見てきた私達。その先輩に「東江中をさらに輝く学校に」とエールをもらい、気が引き締まると共に、プレッシャーを感じたものです。

今年度初めての行事、新入生歓迎会。昨年同様、体育館でのレク大会を行いました。その中で一番盛り上がったのが、大縄跳びでした。この歓迎会では1年生の緊張もほぐれたようで、笑顔も見られたのでほっとしたものです。

6月に行われた運動会でも生徒会種目は大縄跳びをやりましたが、新入生歓迎会以上に盛り上がり、クラスや兄弟学級の絆の深まりが感じられました。運動会までの短い練習期間、先頭に立ちリードすることの大変さ、難しさに悩んだりもしましたが、皆でやり遂げた達成感と満足感に、仲間感謝するとともに、もう、このメンバーでの運動会は最後なのかと思うと思わず涙が溢れてきました。

合唱コンクールでは、どのクラスも最高の歌声を披露し、3年生3クラスとも金賞、3年3組がグランプリを獲得しました。昨年からはまった「不転祭り」でも、舞踊や三線、英語スピーチの披露がありました。今年にはラップやお笑いの要素も加わり、会場に笑いと拍手があふれ、良い思い出を作ることができました。3年間頑張った部活動でも好成绩を収めるこ



とができました。女子バレー部と男子バスケット部の夏季総体優勝、相撲部は団体戦優勝や個人戦優勝もありました。他にも3年生のみならず、1

・2年生も良い結果を残すことができました。それから、夏休みからスタートした陸上・駅伝の練習は、自分を成長させることのできた活動でした。毎日、皆と声を掛け合い、支え合いながら練習をこなした日々。地区陸上では、男子3位、女子12位、総合6位と順位を上げることができました。

地区駅伝では、男子が5位とあと一歩のところまで、県大会出場ならず悔しかったけど、皆できつい練習をこなしてきた充実感は、すごく印象に残っています。

目を閉じると、実に様々な思い出が次々と浮かんできて、まだまだ話は尽きません。

最初は怒られることが多かった私達でしたが、仲間と共に学び、一つ一つの行事を成功させ、大きく成長することができました。3年間ご指導くださった先生方、ありがとうございます。時には手こずらせたこともありましたが、いつも、私達を支えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

私達の大事な仲間、東江中40期生の皆さん。皆さんとはとても楽しい日々を過ごすことができました。このメンバーと一緒に学んだり、一つのことをやり遂げることは、もう、ありません。これからは、それぞれ自分の選んだ道を歩んでいきます。でも、東江中での生活は、いつまでも私達の中で輝き続けることでしょう。ここで学んだことを糧に充実した日々を過ごしましょう。

いつも、一番近くで見守り支えてくれたお父さん、お母さん。今の私達の姿を見てください。立派とはまだまだ言えませんが、それでもこんなに成長しました。時には優しく、時には厳しく育ててくれてありがとうございます。これからもたくさん迷惑をかけ、心配させることも多いと思いますが、宜しくお願ひします。



私達は、この東江中で学べたことに誇りを持ち、胸を張って巣立つことができます。

後輩の皆さん、3年間はあつという間です。私達はこれからもずっと東江中を応援し、進化し続ける東江中を見守りたいと思います。

最後に、会場にお集まりの皆様のご健康と我が東江中の限らない発展を祈念し、門出の言葉いたします。

平成29年3月11日